

令和3年度 さいたま市立与野西中学校 学校運営協議会による評価書

さいたま市立与野西中学校
学校運営協議会
会長氏名 野口 浩 ㊟

学校運営協議会による評価（協議会の委員の意見等）

- コロナ禍での教育活動を安心・安全、健康に配慮しながら工夫し、教職員が一丸となって取り組んでいる様子が伝わってきました。ICTを活用した授業の提供や模索など、教職員が前向きに展開し、基礎学力の向上に努めている情熱や使命感にも敬意を表します。
- 生徒の成長を考え、西中生徒達が充実した学校生活を送れるように尽力されたことが伝わってきました。コロナ禍という特別な事態の中で、多くの保護者からの肯定的な評価は、その成果の表れだと思います。
- 潤いの時間「人間関係プログラム」は生徒と生徒、生徒と教職員間のコミュニケーションツールとして生徒指導の充実に役立ち、コロナ禍にある今だからこそ重要であると感じました。今後も様々な課題の克服を目指して模索していくうえでも基本であると思うので継続してほしいと考えます。
- 新型コロナウイルス感染拡大で、授業・部活動・行事が大変多くの困難にさらされました。そうした中、学校からの地域への発信は大変重要でしたし、努力していただきました。
- 授業参観では、生徒が活発に意見を出し合いながら熱心に学んでいる姿を見て、学習意欲を高める工夫がされていると感じました。
- 令和3年度の目標達成、また、それに近づくために努力されている事は学校評価にもあらわれていると感謝しております。
- 学校評価で「学力向上」、「授業の工夫」など、生徒や保護者から授業に対する評価が良かったのも教師の教育に関する前向きな指導のたまものであると思われまます。
- コロナが続く中で、学校は、清潔な環境作り、行事など、いろいろな対応を良くやっていると感じます。
- コロナ禍の中、社会生活が一変し、学校でもすべての事を模索しながらの昨今だと思います。学校へ出かける機会が少なくなりましたが、今、生徒達に少し活気がなくなっているように感じます。(挨拶など)。先生方には、生徒達に声をかけていただきたいと思ひます。

学校運営協議会による評価を受けた学校の対応

- 学校評価の分析をきちんと行い、職員全員が共通理解した上で今後の指導改善に反映させる。
- ICTを活用し、生徒の学習意欲が高められるような授業づくりについて研究していく。
- 新型コロナウイルスの感染防止対策を徹底しながら教育活動を円滑に進めていく。その中で、学校の取組について、保護者や地域に積極的に情報を発信していく。

校長氏名 松井 秀史 ㊟

備考 A4用紙1枚程度に簡潔にまとめ、教育委員会に写しを提出してください。